

第 7 5 回 "社会を明るくする運動" in 修学院中学校

【放送当日の進行内容】

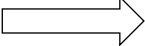
1 日 目 《 7 月 日 () 》 1 2 : 4 5 ~ 1 2 : 5 5

放送部	皆さん"社会を明るくする運動"をご存じですか。 これは、私達みんなが犯罪や非行の防止と立ち直りについて考え、 それぞれの立場で力をあわせて犯罪や非行のない地域社会を築こう という法務省主唱の全国的な運動で、今年は第 7 5 回となります。 残念ながら事件や犯罪は毎日のように起こっています。取締りや厳しく罰する ことは必要なことですが、重要なことは非行や犯罪を生み出さない家庭や 地域社会を作っていくことでしょう。 7 月は"社会を明るくする運動"の強化月間です。 そこで、今日と（明日）の 2 回にわたってこの運動についてお送りします。 今日はこの運動に関わってられる保護司の方々に来ていただきました。 自己紹介をお願いします。
保・山中	（自己紹介。約 30 秒）
保・中島	（自己紹介。約 30 秒）
放送部	それでは簡単に社会を明るくする運動と作文コンテストについて説明して いただきます。
保・（中島）	（約 2 分で説明）
放送部	それでは昨年度の作文コンテストに参加した 2 年生の下出さんに 作品を朗読していただきます。
代表者・下出	（作品「地域社会の大切さ」を朗読。） 朗読後、全員で拍手。
放送部	ありがとうございます。 下出さん、作文を書くきっかけについて教えてください。
代表者・下出	（一言）
放送部	ありがとうございます。 保護司さんからなにかひと言ございましたらお願いします。
保・（中島）	（一言）
放送部	ありがとうございます。 明日は 2 日目をおおくりします。

➡ 残り時間により調整する。

2 日 目 《 7 月 日 () 》 1 2 : 4 5 ~ 1 2 : 5 5

放送部	今日は"社会を明るくする運動"の 2 日目です。
-----	--------------------------

インタビュー	昨日は保護司さんにお話しいただきましたが、今日はBBSの〇〇様に来ていただきました。	
	それではインタビューを始めます。	
	①. まず最初にBBSという組織について教えてください。 ②. 〇〇さんがBBSに参加されることになったきっかけはどういったことでしょうか。 ③. 最後に修学院中学校の生徒へコメントをお願いします。	
放送部	ありがとうございます。私たち修学院中学校の生徒に対して、〇〇様からこれだけ期待していただいているということはとてもうれしいことです。今年も、昨日読んでもらった下出さんに続いてたくさんの作品がでることが期待されます。 1年生の皆さん、作文への取組頑張ってください。 続いて保護司の方からひと言お願いいたします。	
保護司・（山中）	（一言）	 残り時間により調整する。
放送部	最後に今年の社会を明るくする運動のポスターに書かれている「詩（Time with Hope）」を読みます。 これで2日間の"社会を明るくする運動"の放送を終わります。	

- ※ 放送部担当の文言は独自に編集してください。
- ※ 保護司担当部分は終了時刻を考慮しながら時間調整します。

第75回 "社会を明るくする運動" 企画書 〔修学院地域〕

1. 修学院中学校において、昼食時間帯に校内放送にて社会を明るくする運動についての話を生徒の皆さんにさせていただく。
2. 修学院小学校・修学院第二小学校校長と協力して、作文募集に向けての事前指導のあり方について探る。

【概要】

1. について

- ・ 2 日間で社明活動について校内放送する。
- ・ 保護司より活動内容を説明する。
- ・ 作文コンテスト参加者 1 人に作品を朗読してもらう。

2. について

- ・ 小学校での取組（いじめ防止、非行防止教室、薬物乱用防止教室等）と社会を明るくする運動を小学生高学年に理解しやすく結びつける工夫が必要であり、小学校校長先生方と協力して、作文を書こうという意欲を高める事前指導のあり方について探る。

【日程】 詳しい日程は未定です。

7 月初旬に当活動の案内を学校の掲示板に掲示させていただく。

1日目 7 月 日 12:45～12:55

保護司より社明活動の説明。

作文コンテスト参加者代表（1 名）の作文朗読。

2日目 7 月 日 12:45～12:55

BBSの方へのインタビューを通して社明運動についての認識を深める。

保護司より修学院中学生へのメッセージ。

【活動のねらい】

1. 小学生高学年や中学生に社明活動を知ってもらう。
2. 地域での保護司の活動を知ってもらう。
3. 作文コンテストに興味を持ってもらい、応募者が増えることを期待する。
4. 小学校教員にも作文に対する事前指導のノウハウを身につけてもらう。

【方針】ミニ集会開催とせず、昨年に準じて修学院中学校にて生徒向けの運動とする。
修学院中学校/岩田校長先生に5月28日に中島・山中先生が訪問し説明した。
「今年度も同様に行う予定でいる」との返事をいただいた。

【昨年度の内容確認】

－ 別紙 －

【検討事項】

1. 内容の検討及び確認、役割分担
 - ・ 日数（2日間）。
 - ・ 保護司から中学生に伝えたいこと。
 - ・ 話し手の人数（昨年度は保護司3人。時間的余裕は少なく10分間）
 - ・ 放送部員に担当してもらう事柄。

2. BBSとの調整

3. 返礼品

- ・ 放送部、校長先生、作文朗読者
- ・ 作文提出者全員へ（保護司会からのものとは別に）

4. 作文の審査

昨年度は学校より全作品(170作品)を渡され中島が3作品を選出した。
全作品を読むことで生徒達の思いを知ることが出来て良かったが、一人
で選出することの責任と公平さをどうするか。 時間的余裕が無い。
学校側へせめて学級2作品の選出を依頼している。

5. 中学校への打合せ訪問日時

6. 小学校への取組

小学校の高学年児童へこれまで以上にたくさんの応募を募りたい。そのためには、児童のみならず教員にも社会を明るくする運動がより継続して、意識しやすい指導が必要ではないか。修学院小学校校長が道德教育研究に長けていることもあり、この話を持っていき相談してみてもどうか。

7. その他

- ・ 中学校には作文用紙を購入していただく。その費用はこちらから支払う。

第75回 "社会を明るくする運動" 活動報告書

修学院地域

【概要】 第75回 "社会を明るくする運動" in 修学院中学校

中学校の昼食時の校内放送にて"社会を明るくする運動"を全生徒に知ってもらおう。

これからの社会を担っていく中学生の皆さんに社明運動を知ってもらい、運動の一環である作文コンテストへの多くの参加を募りたい。

【日時】 7月7日(月) 12:45～12:55

7月8日(火) 12:45～12:55

【内容】 保護司からの説明を放送部主体で進行していただく。

1日目：社会を明るくする運動と保護司活動について。

2日目：BBS会の方へのインタビュー形式による社会を明るくする運動への理解を深めるとともに、中学生へのメッセージを送る。

詳細は別紙。

【経緯】 5月28日：修中・校長先生にこれまでの修学院中学校での取り組みの説明と今年度も継続したい旨のお願いをする。昨年同様の活動で合意した。

6月11日：地域打合せ。BBS会の方に参加していただけないか。

6月8日：地域打合せ。左京区長様からのメッセージが可能になったことを

6月16日：BBS会会長出口さんに概要説明と協力依頼。了承いただけた。

6月18日：修中にて今年度の取り組みについて学校長と打合せ。

6月24日：地域打合せ。今年度の取り組みの確認。

6月28日：BBS会会長出口さんと当日の打合せ。

6月30日：修中にて放送部員・顧問の先生と打合せ。2日目のBBS会の方とのインタビューを含む進行の確認。

7月8日：本番1日目。予定通り進行できた。

7月9日：本番2日目。予定通り進行できた。

9月上旬：地域打合せ。今回の反省会を行う予定。

【作文募集への対応】

1. 作文用**原稿用紙**の全生徒数分を学校にお渡しした。

2. 作文コンテスト**案内チラシ**を全生徒数分をお渡しした。

3. 応募作品より**3作品選出は基本学校側**で行うこととした。



1日目放送部員さんに"作文朗読"をしてもらいました



2日目放送部員の皆さんとBBS会代表の方と保護司メンバー